

平成 23 年 1 月 28 日

各 位

株式会社 フレンテ

上場会社名

代表者 代表取締役社長 小池 孝
(コード番号 2226)

問合せ責任者 常務取締役グループ管理管掌 藤原 潤也
(TEL 03-3979-2112)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年10月29日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

1. 平成23年6月期 第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正

(平成22年7月1日～平成22年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円銭
前回発表予想 (A)	16,565	55	70	45	11.88
今回発表予想 (B)	16,594	142	165	118	31.29
増減額 (B-A)	29	87	95	73	—
増減率 (%)	0.2	158.8	136.0	163.4	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年6月期第2四半期)	18,244	1,109	1,119	727	192.19

2. 平成23年6月期 通期連結業績予想数値の修正

(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円銭
前回発表予想 (A)	35,975	890	900	500	132.01
今回発表予想 (B)	34,360	360	400	220	58.08
増減額 (B-A)	△1,615	△530	△500	△280	—
増減率 (%)	△4.5	△59.6	△55.6	△56.0	—
(ご参考)前期実績 (平成22年6月期)	35,172	1,681	1,692	1,040	274.60

3. 修正の理由

(1) 第2四半期累計期間（平成22年7月1日～平成22年12月31日）

第2四半期累計期間における当社グループの売上高につきましては、第1四半期に引続き主力事業であるスナック市場での価格競争は大変厳しい環境となりましたが、新製品の積極的な投入や効果的な消費者キャンペーン等の販売促進活動により、直近で公表いたしました予想を29百万円上回り16,594百万円（0.2%増）となる見通しであります。

また利益面につきましても、主原料である国産馬鈴薯が九州・本州産に続き主産地である北海道も不作や品質劣化の影響を受け、想定以上に製造原価を押し上げましたが、広告費・販売促進費等の削減効果もあり第2四半期累計期間における営業利益は142百万円（直近で公表いたしました予想に対し158.8%増）、経常利益は165百万円（同136.0%増）、四半期純利益は118百万円（同163.4%増）となる見込みであります。

(2) 通期（平成22年7月1日～平成23年6月30日）

今後の見通しにつきましては、経済環境も本格的な回復は望めず、消費者の低価格志向による市場での競争は更に厳しくなるものと予想しております。売上につきましては、今後の施策を考慮し第3四半期以降、直近で公表した予想に対し8.4%程度下方修正いたします。また、原材料の状況におきましても、世界的な天候不順による農作物の不作等の環境の下、馬鈴薯の調達や品質劣化による原価への影響は避けられないものと認識しております。更に最近の食料・資源価格が高騰局面にあることから、製造原価の悪化要因（売上比2.2%程度）を見込んでおります。

以上の経営環境を踏まえ、新製品の投入や付加価値の高い製品を展開するとともに、経費の削減も行なっておりますが、通期の連結業績予想につきましては、売上高を34,360百万円（直近で公表いたしました予想に対し4.5%減）、営業利益360百万円（同59.6%減）、経常利益400百万円（同55.6%減）、当期純利益を220百万円（同56.0%減）に修正いたします。

なお、個別業績につきましては、持株会社である当社の人件費・経費等は、当初計画とほぼ同程度で推移しておりますので、参考として公表している第2四半期累計期間及び通期の個別業績予想を据置きといたします。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。

以 上